

消防通信指令システム等更新整備事業

調達仕様書

【別添3】

通信鉄塔点検結果

令和8年

北九州市消防局

目 次

1.	仕様書	1
2.	鉄塔点検業務計画書	1
3.	点検作業工程表	1
4.	点検記録表	1
5.	外観写真・説明	20
6.	図面(撮影箇所)	1
7.	劣化度診断参考資料	17

別紙-3 点検記録表(通信用鉄塔)			今回	前回	健全性診断結果	
整備局名	— 地方整備局	点検年月日	2025年 12月 25日	年 月 日	今回	前回
事務所名	— 事務所	点検周期	15年	年		
無線局名	— 消防局無線基地局	天候	曇りのち晴れ		A・B・C・D	A・B・C・D
建設年度	年 月	点検事業者名	株式会社AIR-TEC			
補修年度	年 月	点検作業者名	山下			
鉄塔形式・高さ	シリンダー型 65m		堀尾			
設置区分	重耐塩地区・その他地区					

No.	区分	項目	点検方法	判定方法	判定表	今回判定	前回判定	写-No.	判定記号	図-No.	
1	本柱	鋼材(形鋼、仕口部、GPL等)	亀裂	目視	有無	—	①・IV	I・IV	4.8.10	A	1
			破断	目視	有無	—	①・IV	I・IV	4.8.10	A	1
			変形・欠損	目視	有無	—	①・IV	I・IV	4.8.10	A	1
			腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4、5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	4.8.10	B	1
		継手・ボルト等	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4、5	①・II・III・IV	I・II・III・IV	5.6.7.9.10	A	1
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有無	別紙6	①・IV	I・IV	5.6.7.9.10	A	1
			仕口溶接部	亀裂	目視	有無	別紙7	①・IV	I・IV	5.6.7.9.10	A
2	腹材(本柱を除く塔体部材)	鋼材(形鋼、仕口部、GPL等)	亀裂	目視	有無	—	①・IV	I・IV	5.6.7.9.10	A	1
			破断	目視	有無	—	①・IV	I・IV	5.6.7.9.10	A	1
			変形・欠損	目視	有無	—	①・IV	I・IV	5.6.7.9.10	A	1
			腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4、5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	5.6.7.9.10	A	1
		継手・ボルト等	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4、5	①・II・III・IV	I・II・III・IV	5.6.7.9.10	A	1
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有無	別紙6	①・IV	I・IV	5.6.7.9.10	A	1
			仕口溶接部	亀裂	目視	有無	別紙7	①・IV	I・IV	5.6.7.9.10	A
3	柱脚	アンカーボルト・ナット	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4、5	I・II・III・IV	I・II・III・IV			
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有無	別紙6	I・IV	I・IV			
			変形	目視	有無	—	I・IV	I・IV			
		ベースPL	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4、5	I・II・III・IV	I・II・III・IV			
			変形	目視	有無	—	I・IV	I・IV			
ベースPL溶接部	亀裂	目視	有無	別紙7	I・IV	I・IV					
4	基礎	ベースモルタル	圧壊・剥落	目視、隙間ゲージ	劣化度判定基準	別紙8	I・II・III・IV	I・II・III・IV			
		基礎コンクリート	ひび割れ等	目視、クラックスケール	劣化度判定基準	別紙9	I・II・III・IV	I・II・III・IV			
		基礎及び周辺地盤	傾き等	水準器等	劣化度判定基準	別紙10	I・II・III・IV	I・II・III・IV			
5	二次部材	梯子・ラック・アンテナ取付リング・踊場・手摺(形鋼、ボルト等)	亀裂	目視	有無	—	①・IV	I・IV	全部	A	1
			破断	目視	有無	—	①・IV	I・IV	全部	A	1
			変形・欠損	目視	有無	—	①・IV	I・IV	全部	A	1
			腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4、5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	全部	C	1
6	その他	アンテナ取付架台、避雷針支持柱、水平ラダー等	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4、5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.7.10	C	1
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有無	別紙6	①・IV	I・IV	2.7.10	A	1
			変形	目視	有無	—	①・IV	I・IV	2.7.10	A	1

点検結果の所見	・消防局は海が近いのもあり塩害による塗膜剥がれ劣化が見受けられます、再塗装をお勧めします。	判定記号	A	B	C	D
応急処置の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 対策の内容:	合計	19	1	2	0

【部材の劣化度に応じた健全性の診断区分】	
診断区分	診断の内容
A 健全	「主要部材がI かつ 非主要部材がI 又はII」
B 予防保全段階	「主要部材がI かつ 非主要部材がIII」又は「主要部材がII かつ 非主要部材がI、II 又はIII」
C 早期処置段階	「主要部材がIII」又は「主要部材がI 又はII かつ非主要部材がIV」
D 緊急処置段階	「主要部材がIV」

消防局無線基地局外觀写真・説明



工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-1

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:水平、垂直ラダージョイント部



・亜鉛層が劣化が進み、
合金層が局部的に露出した状態。

・ボルトの変形・脱落はありません。

II



・ジョイント部に発錆びが見受けら
れる、亜鉛層に劣化が見られる。

・ボルトの変形・脱落はありません。

II



・ジョイント部に発錆びが見受けら
れる、亜鉛層に劣化が見られる。

・ボルトの変形・脱落はありません。

II

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-4

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:鉄塔支柱、昇降設備



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が浮き出
てきている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が浮き出
てきている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が浮き出
てきている。

II

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-4

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:昇降設備、垂直ラダー



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

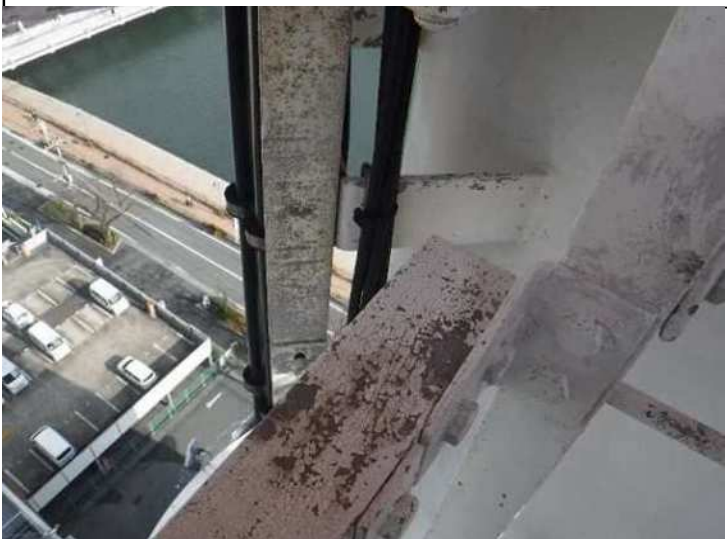
II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。

・塩分による劣化が強い

III



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。

・塩分による劣化が強い

III

備考:

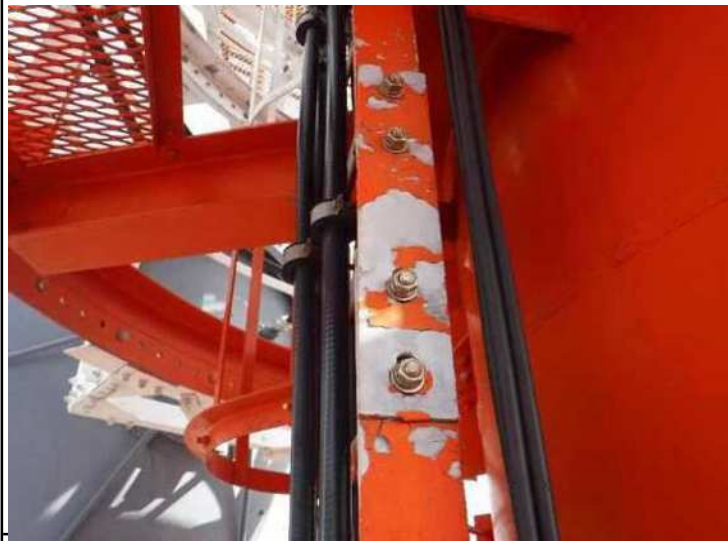
工事件名:無線基地局点検業務

図-1、写-5

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

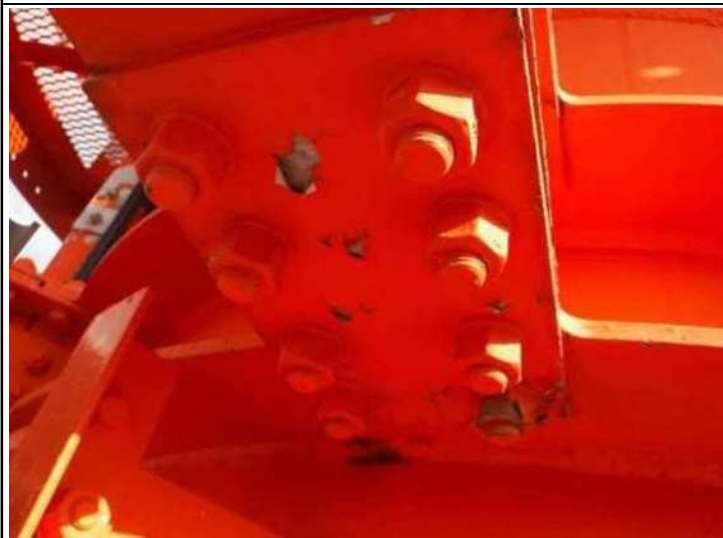
基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:垂直ラダー、フランジ、リング手摺



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-4

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:踊場、グレーチング上部



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-4

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:主柱、フランジ接合部



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-5

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

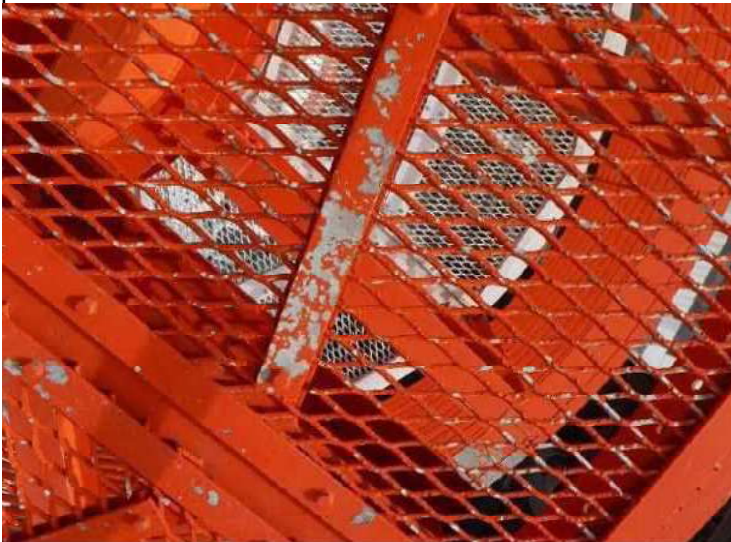
基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:踊場、グレーチング上部



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-4

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:踊場下部、フランジ各部、垂直ラダー



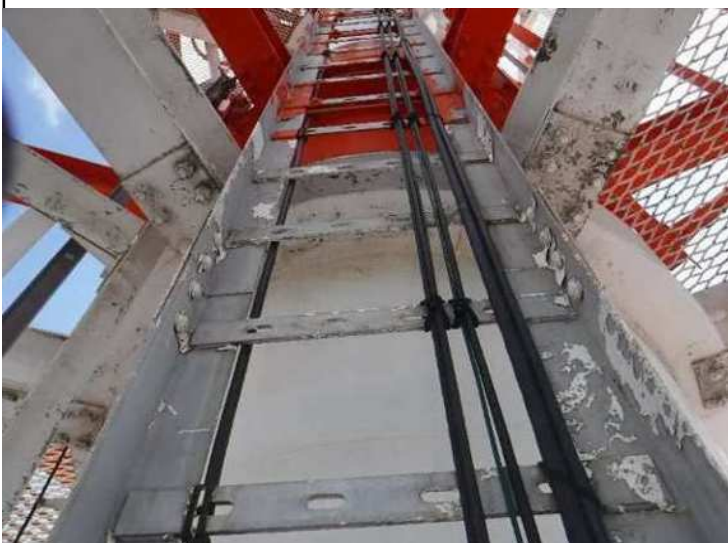
- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-6

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:昇降設備、タラップ、垂直ラダー



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名:無線基地局点検業務

図-1、写-7

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:踊場、フランジ、支持柱



・支持柱に発錆びあり、
錆止め、防食塗装を推奨します。

III



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し
合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し
合金層が浮き出ている。
・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-7

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:踊場、フランジ、アンテナ支持柱



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-8

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:昇降設備、踊場下部



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-7

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:フランジ、リング手摺



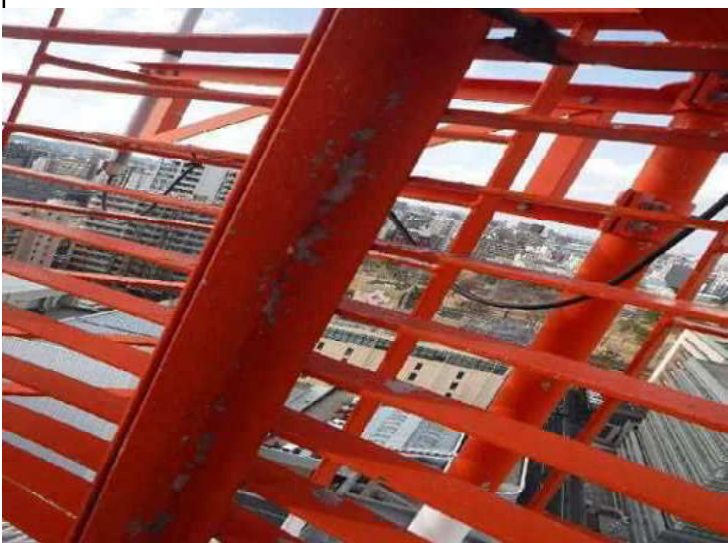
- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III



- ・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
- ・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-8

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:踊場、グレーチング



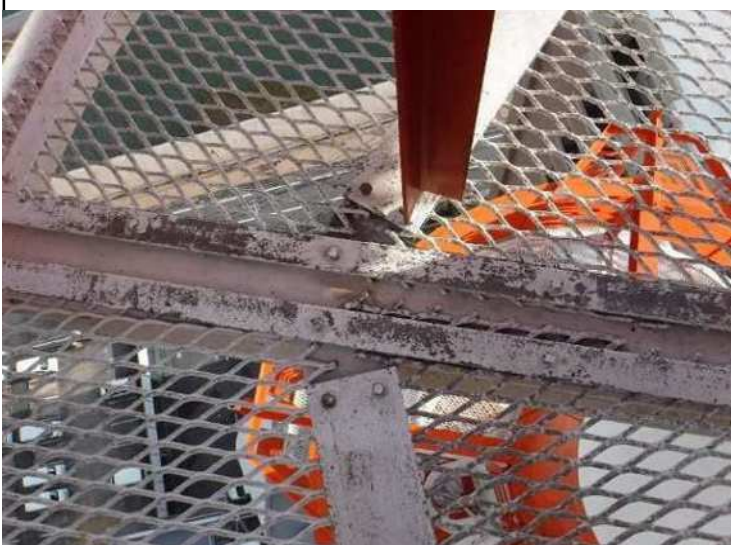
・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-9.10

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:昇降設備最上部



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
・塩分による劣化が強い

III



・発錆びあり、錆止め防食塗装を推奨します。
・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-9.10

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:最上部、分電盤



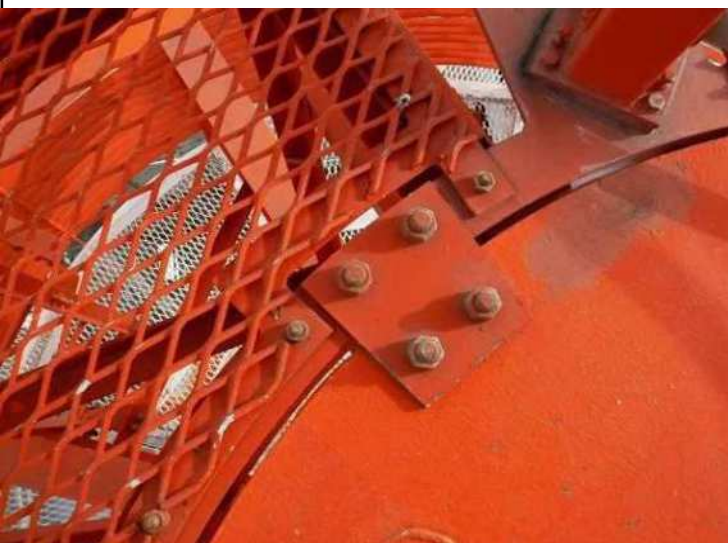
・M12のVボルトが錆びています。
交換をお勧めします。

IV



・M12のVボルトが錆びています。
交換をお勧めします。

IV



・ボルト部塗膜の剥がれ

II

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-6.11

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

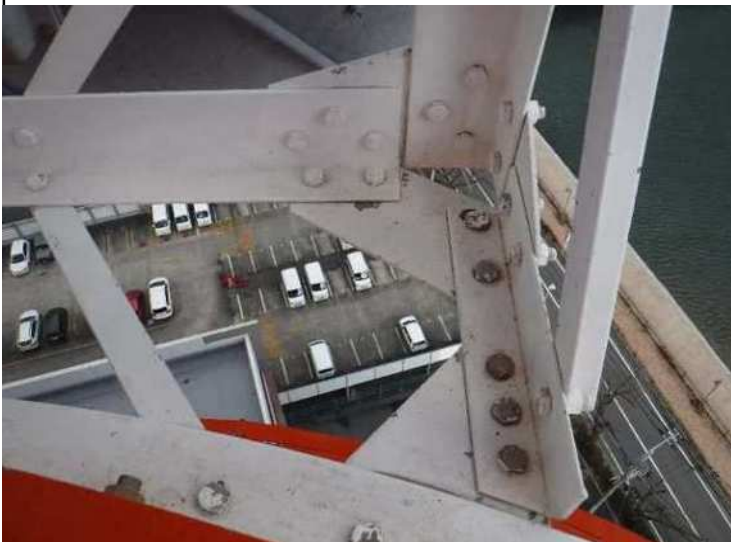
基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:アンテナ架台



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が劣化し合金層が局部的に浮き出ている。

II



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
・塩分による劣化が強い

III



・塗膜が剥がれ、亜鉛層が消耗し合金層が浮き出ている。
・塩分による劣化が強い

III

備考:

工事件名;無線基地局点検業務

図-1、写-2.3

工事場所:北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名:消防局無線基地局

撮影箇所:鉄塔から屋上昇降設備、垂直ラダー、踊場



・ボルトに変形・脱落は無いが、
ジョイント部に発錆有り。

・サビ止め・防食塗装を推奨します。

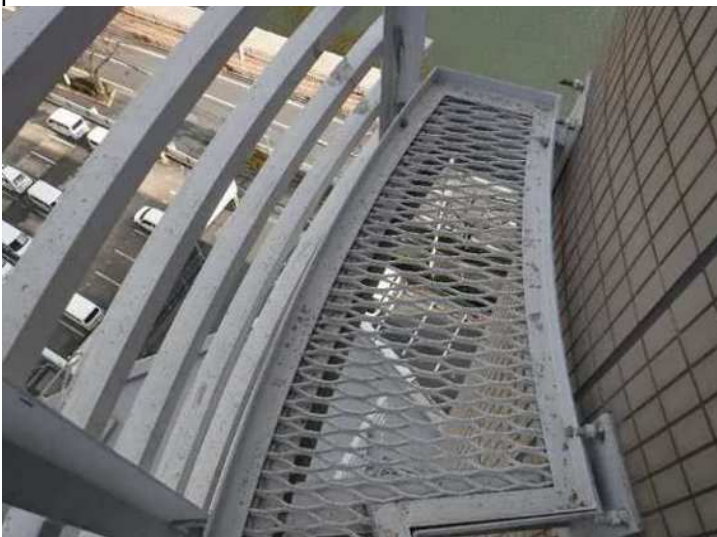
II



・ボルトに変形・脱落は無いが、
ジョイント部に発錆有り。

・サビ止め・防食塗装を推奨します。

II



・塗装の剥がれが所々に有りました。

II

備考:

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-1.2.3

工事場所：北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名：消防局無線基地局

撮影箇所：屋上から鉄塔への外タラップ



・昇降梯子アンカーボルトに異常は有りません。

・塗装の剥がれが所々に有りました。

II



・昇降梯子アンカーボルトに異常は有りません。

・塗装の剥がれが所々に有りました。

II



・ボルトに発錆び有り、交換が必要。F8T M16×50

IV

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-1.2

工事場所：北九州市小倉北区大手町3番9号

基地局名：消防局無線基地局

撮影箇所：鉄塔から屋上までの垂直・水平ラダー



・ボルトに変形・脱落は無いが、
ジョイント部に発錆有り。

・サビ止め・防食塗装を推奨します。

II



・ボルトに変形・脱落は無いが、
ジョイント部に発錆有り。

・サビ止め・防食塗装を推奨します。

II



・ボルトに変形・脱落は無いが、
ジョイント部に発錆あり。

・サビ止め・防食塗装を推奨します。

II

備考：

目 次

1.	仕様書	1
2.	点検工程表	1
3.	点検記録表	1
4.	外観写真・説明	15
5.	図面(撮影箇所)	1
6.	劣化度診断参考資料	17

別紙-3 点検記録表(通信用鉄塔)

審判員名	— 地方整備局	点検年月日	2025年 12月 23日	今回	前回	健全性診断結果		
事務所名	— 事務所	点検箇所	18年	年	月	日	今回	前回
無線局名	石障山無線基地局局	天候	晴れ					
施設年度	年 月	点検事業者名	株式会社AIF-TEC					
補修年度	年 月	点検作業者名	山下				A・B・C・D	A・B・C・D
鉄塔形式・高さ	アンテナトラス型 20.5m		堀尾					
設置区分	重層塔地区・その他地区							

No.	区分	項目	点検方法	判定方法	判定表	今回判定	前回判定	写真	判定記号	異-他			
1	本柱	鋼材(形鋼、仕口等、GPL等)	亀裂	目視	有無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
			破断	目視	有無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
			変形・欠損	目視	有無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
			腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.3.4.5	C	1		
		継手・溶接部	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.3.4.5	A	1		
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有無	別紙6	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
			仕口溶接部	亀裂	目視	有無	別紙7	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1	
2	環材(本柱を除く塔体部材)	鋼材(形鋼、仕口等、GPL等)	亀裂	目視	有無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
			破断	目視	有無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
			変形・欠損	目視	有無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
		継手・溶接部	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.3.4.5	C	1		
			腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.3.4.5	A	1		
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有無	別紙6	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
			仕口溶接部	亀裂	目視	有無	別紙7	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1	
3	柱脚	アンカーボルト・ナット	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	A	1		
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有無	別紙6	I・IV	I・IV	1	A	1		
			変形	目視	有無	—	I・IV	I・IV	1	A	1		
		ベースPL	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	C	1		
			変形	目視	有無	—	I・IV	I・IV	1	A	1		
			溶接部	亀裂	目視	有無	別紙7	I・IV	I・IV	1	A	1	
			ベース溶接部	亀裂	目視	有無	別紙7	I・IV	I・IV	1	A	1	
4	基礎	ベース溶接部	変形・引張	目視、降圧ゲージ	劣化度判定基準	別紙6	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	B	1		
			基礎コンクリート	ひび割れ等	目視、クラックスケール	劣化度判定基準	別紙9	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	A	1	
		基礎及び配管周辺等	傾き等	水準器等	劣化度判定基準	別紙10	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	A	1		
		5	二次部材	梯子・ラック・アンテナ取付リング・消火器・手摺(形鋼、角材等)	亀裂	目視	有無	—	I・IV	I・IV	3.4.5.6	A	1
					破断	目視	有無	—	I・IV	I・IV	3.4.5.6	A	1
					変形・欠損	目視	有無	—	I・IV	I・IV	3.4.5.6	A	1
					腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	3.4.5.6	C	1
緩み・脱落	目視、ハンマー試験			有無	別紙6	I・IV	I・IV	3.4.5.6	A	1			
6	その他	アンテナ取付架台、避雷針支持柱、水平ラダー等	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	3.4.6	C	1		
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有無	別紙6	I・IV	I・IV	3.4.6	A	1		
			変形	目視	有無	—	I・IV	I・IV	3.4.6	A	1		

点検結果の所見：母線無線基地局同様、溶融めっきが消耗しています、防食塗装をお願いします。

応急処置の有無 有 無 対策の内容:

判定記号	A	B	C	D
合計	26	1	4	0

【部材の劣化度に応じた健全性の診断区分】

診断区分	診断の内容
A	健全
B	「主要部材がI かつ 非主要部材がI 又はII」
C	「主要部材がI かつ 非主要部材がIII 又はII かつ 非主要部材がI、II 又はIII」
D	「主要部材がIII 又はII かつ 非主要部材がI 又はII かつ 非主要部材がIV」
D	「主要部材がIV」

石峰山無線基地局外觀写真・説明



工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-1

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：基礎、柱脚部、ベースPL・アンカーボルト



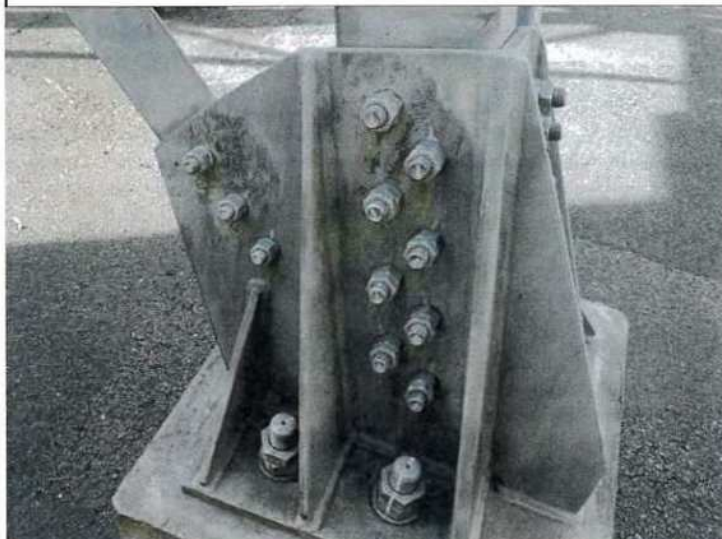
・基礎コンクリート・アンカーボルト良好

・ベースPL錆は無いが

亜鉛層の劣化が進み、
合金層が局部的に露出した状態。

・ベースコーキング材剥がれ

II



・基礎コンクリート・アンカーボルト良好

・ベースPL錆は無いが

亜鉛層の劣化が進み、
合金層が局部的に露出した状態。

・ベースコーキング材剥がれ

II



・基礎コンクリート・アンカーボルト良好

・ベースPL錆は無いが

亜鉛層の劣化が進み、
合金層が局部的に露出した状態。

・ベースコーキング材剥がれ

II

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-1、2

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

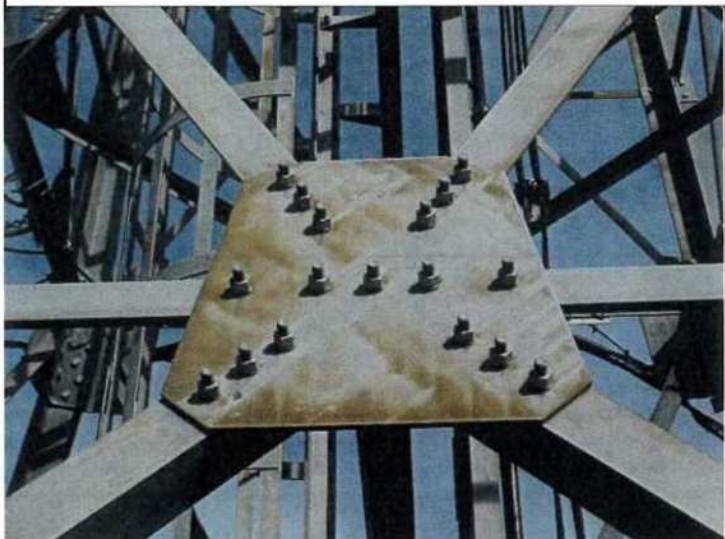
基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：本柱、腹材、補助材



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。

II



・PL等に錆が出てきて亜鉛層が消耗し、合金層が全面に露出した状態。

・ボルト、腹材、補助材に変形

緩みは無く良好でした。

III



・PL等に錆が出てきて亜鉛層が消耗し、合金層が全面に露出した状態。

・ボルト、腹材、補助材に変形

緩みは無く良好でした。

III

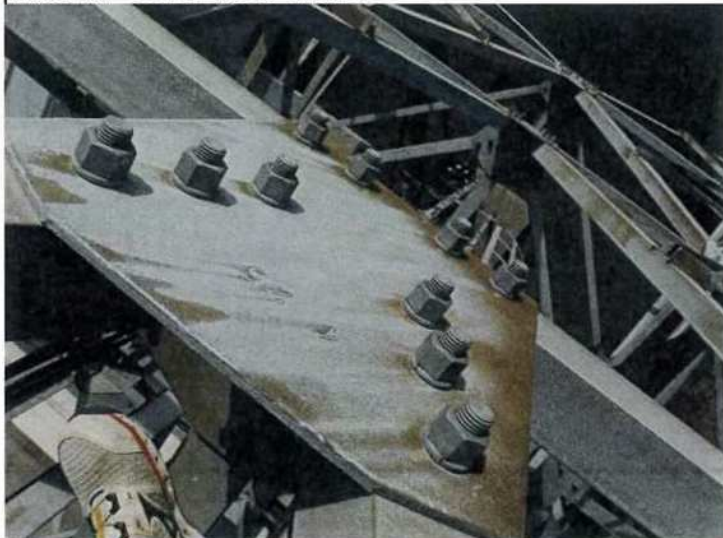
工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-2

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

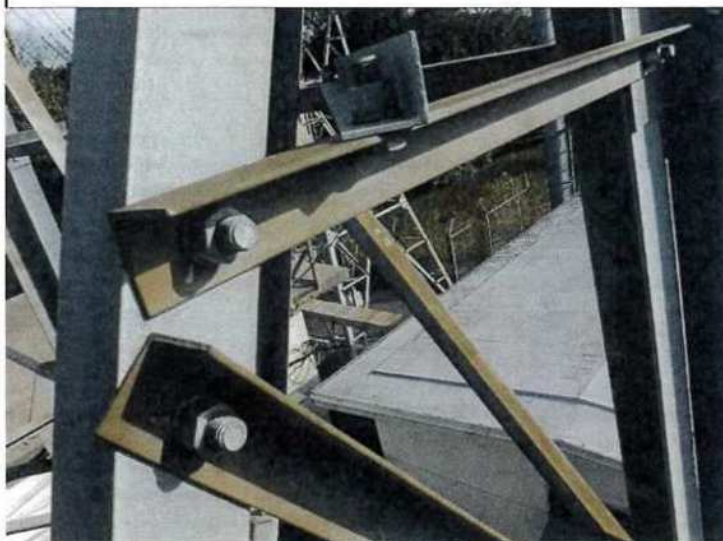
基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：主柱、腹材、補助材



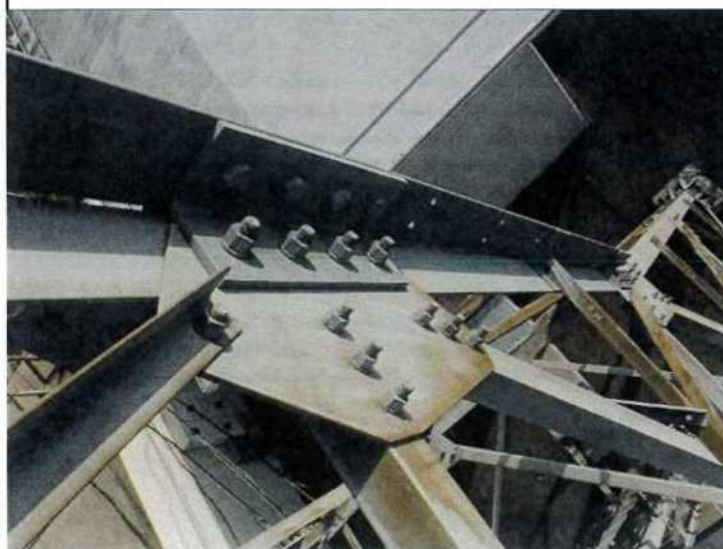
・腹材、補助材に錆が出てきて
亜鉛層が消耗し、
合金層が全面に露出した状態。

III



・腹材、補助材に錆が出てきて
亜鉛層が消耗し、
合金層が全面に露出した状態。

III



・腹材に錆が出てきて
亜鉛層が消耗し、
合金層が全面に露出した状態。

III

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-3

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：リング材、踊場、グレーチング



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。

II



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。

II



・グレーチングに錆が出てきて亜鉛層が消耗し、合金層が全面に露出した状態。

III

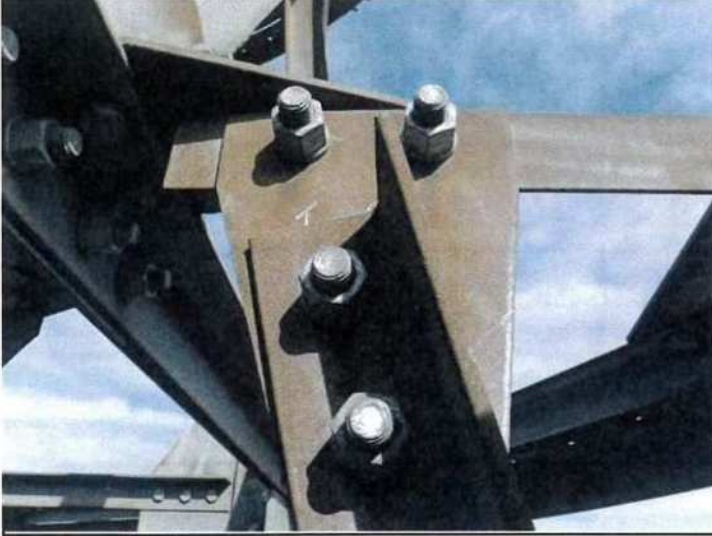
工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-3

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

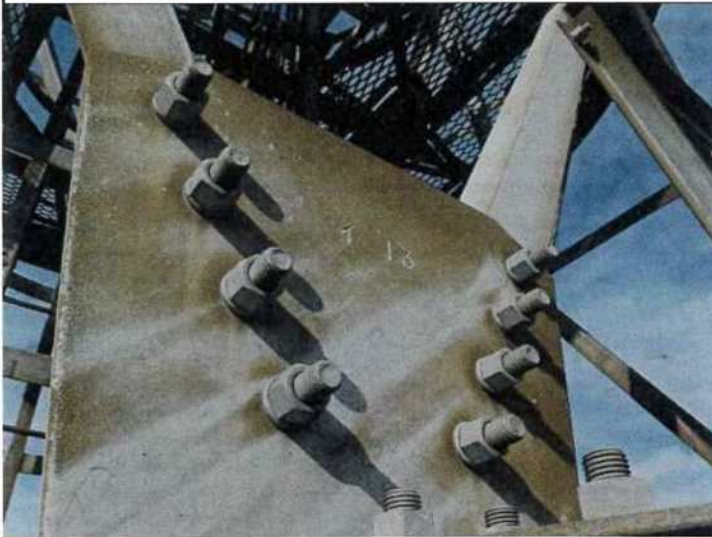
基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：リング材、踊場、グレーチング



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-3

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

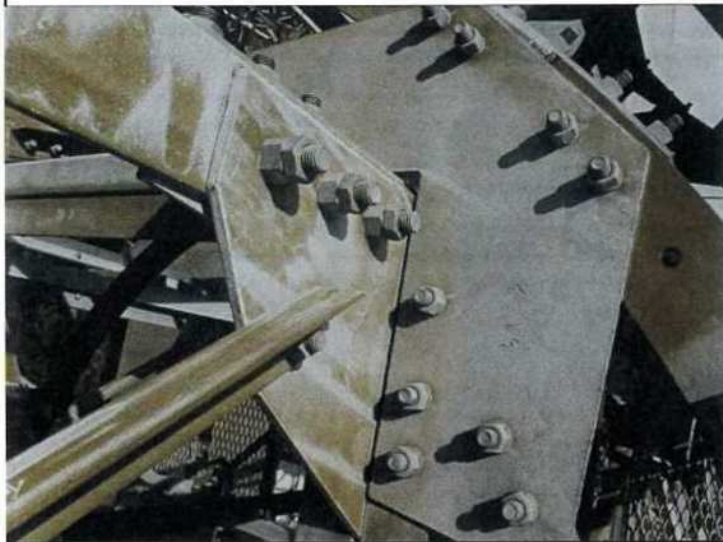
基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：リング材、踊場、腹材、二次部材



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-4

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：踊場、腹材、二次部材、グレーチング材



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。

III

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-4

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：踊場、グレーチング材



・グレーチングに錆が浮き出て
亜鉛層が消耗し、
合金層が全面的に露出した状態。

III



・グレーチングに錆が出て合金層
の劣化が鋼素地付近まで進んだ
状態。

IV



・グレーチングに錆が浮き出て
亜鉛層が消耗し、
合金層が全面的に露出した状態。

III

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-5

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：リング材、踊場、腹材、二次部材



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-5

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：踊場、腹材、二次部材、グレーチング材



・グレーチングに錆が出て合金層の劣化が鋼素地付近まで進んだ状態。

IV



・グレーチングに錆が出て合金層の劣化が鋼素地付近まで進んだ状態。

IV



・グレーチングに錆が出て合金層の劣化が鋼素地付近まで進んだ状態。

IV

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-6

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：タラップ、ラダー材



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが錆が出て亜鉛層が消耗し、合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが錆が出て亜鉛層が消耗し、合金層が全面に露出した状態。

III

工事件名；無線基地局点検業務

図-1、写-6

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：水平ラダー



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形は無いが亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。

III

工事件名；無線基地局点検業務

図-1 写-3, 4

工事場所：北九州市若松区大字小石1570番地の7

基地局名：石峰山無線基地局

撮影箇所：アンテナ架台



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III



・ボルトに緩み、脱落、変形
は無いが亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出した状態。

III

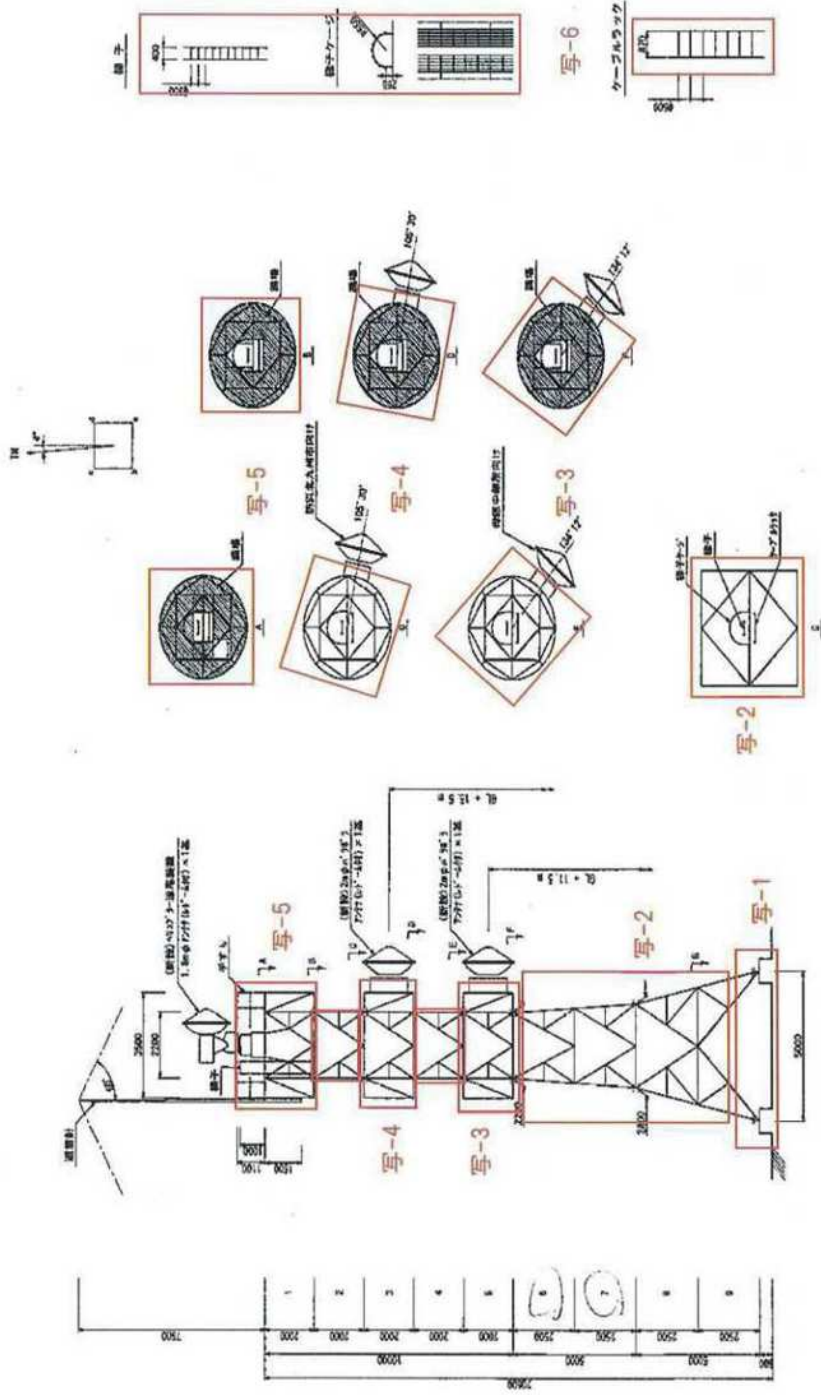


・脱落、変形は無いが
ボルトに錆が有り亜鉛層が
消耗し、合金層が全面に露出
した状態。

III

図面-No.1

北九州市消防局 石崎山中継所 (S=1/150)



別紙-3 点検記録表(通信用鉄塔)				今回	前回	健全性診断結果	
整備局名	地方整備局	点検年月日	2026年 12月 22日	年 月 日		今回 前回	A・B・C・D A・B・C・D
事務所名	事務所	点検周期	15年	年			
無線局名	北九州消防局母原無線基地局	天候	晴れ				
建設年度	年 月	点検事業者名	株式会社AJR-TEC				
補修年度	年 月		山下				
鉄塔形式・高さ	アングルトラス型 15.5 m	点検作業者名	堀 尾				
設置区分	重積塔地区・その他地区						

No.	区分	項目	点検方法	判定方法	判定表	今回判定	前回判定	写-No.	判定記号	残高	
1	本柱	鋼材(形鋼、仕口部、GPL等)	亀裂	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1
			破断	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1
			変形・欠損	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1
		継手・ボルト等	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.3.4.5	C	1
			腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.3.4.5	A	1
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有 無	別紙6	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1
仕口溶接部	亀裂	目視	有 無	別紙7	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
2	腹材(本柱を除く増設部材)	鋼材(形鋼、仕口部、GPL等)	亀裂	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1
			破断	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1
			変形・欠損	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1
		継手・ボルト等	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.3.4.5	C	1
			腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	2.3.4.5	A	1
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有 無	別紙6	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1
仕口溶接部	亀裂	目視	有 無	別紙7	I・IV	I・IV	2.3.4.5	A	1		
3	柱脚	アンカーボルト・ナット	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	A	1
			緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有 無	別紙6	I・IV	I・IV	1	A	1
			変形	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	1	A	1
		ベースPL	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	B	1
			変形	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	1	A	1
			亀裂	目視	有 無	別紙7	I・IV	I・IV	1	A	1
4	基礎	ベースボルト	目視、隙間ゲージ	劣化度判定基準	別紙8	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	D	1	
		基礎コンクリート	ひび割れ等	目視、クラックゲージ	劣化度判定基準	別紙8	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	D	1
		基礎及び周辺地盤	傾き等	水準器等	劣化度判定基準	別紙10	I・II・III・IV	I・II・III・IV	1	A	1
5	二次部材	梯子・ラック・アンテナ取付リング(簡易・手摺(形鋼、ボルト等))	亀裂	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	6.7.8.9.10	A	1
			破断	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	6.7.8.9.10	A	1
			変形・欠損	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	6.7.8.9.10	A	1
		腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	6.7.8.9.10	G	1	
		緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有 無	別紙6	I・IV	I・IV	6.7.8.9.10	A	1	
6	その他	腐食	目視	劣化度判定基準	別紙4,5	I・II・III・IV	I・II・III・IV	6.8.9.10.その他	G	1	
		緩み・脱落	目視、ハンマー試験	有 無	別紙6	I・IV	I・IV	6.8.9.10.その他	A	1	
		変形	目視	有 無	—	I・IV	I・IV	6.8.10.その他	A	1	

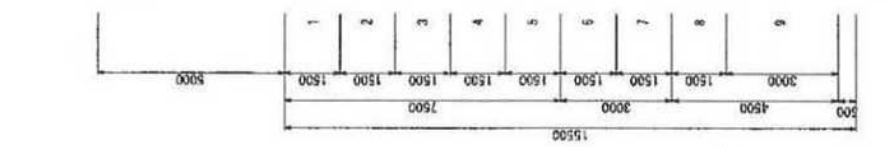
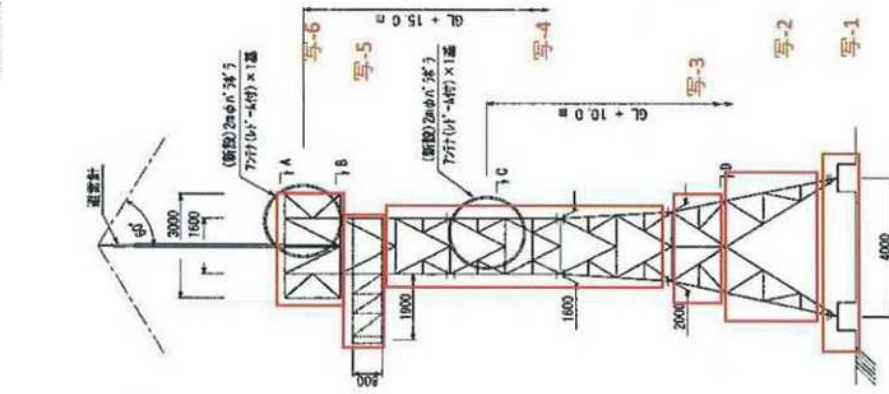
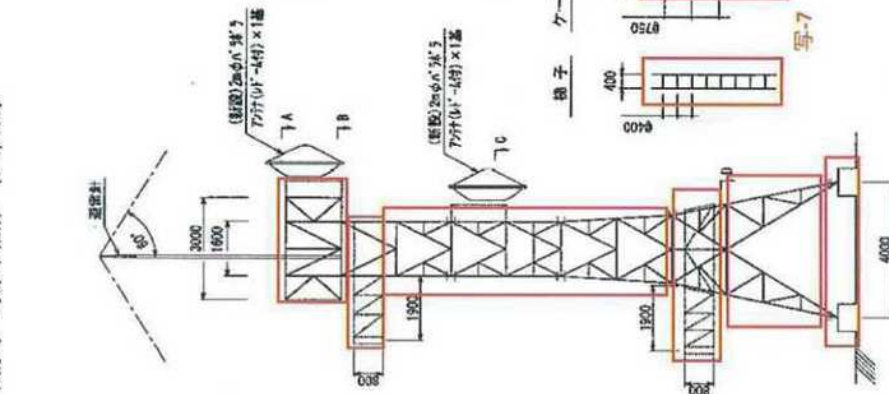
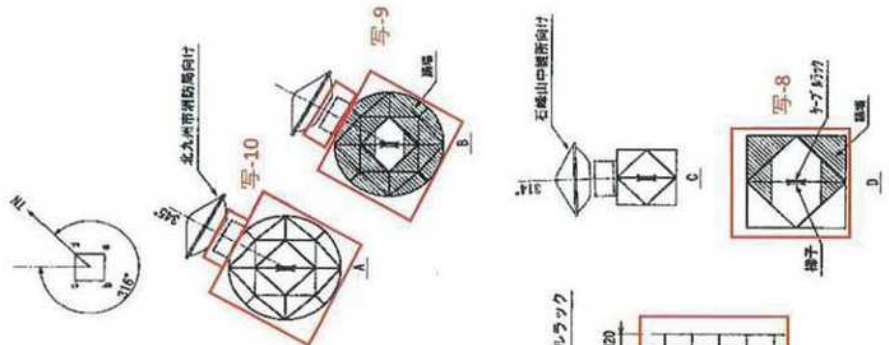
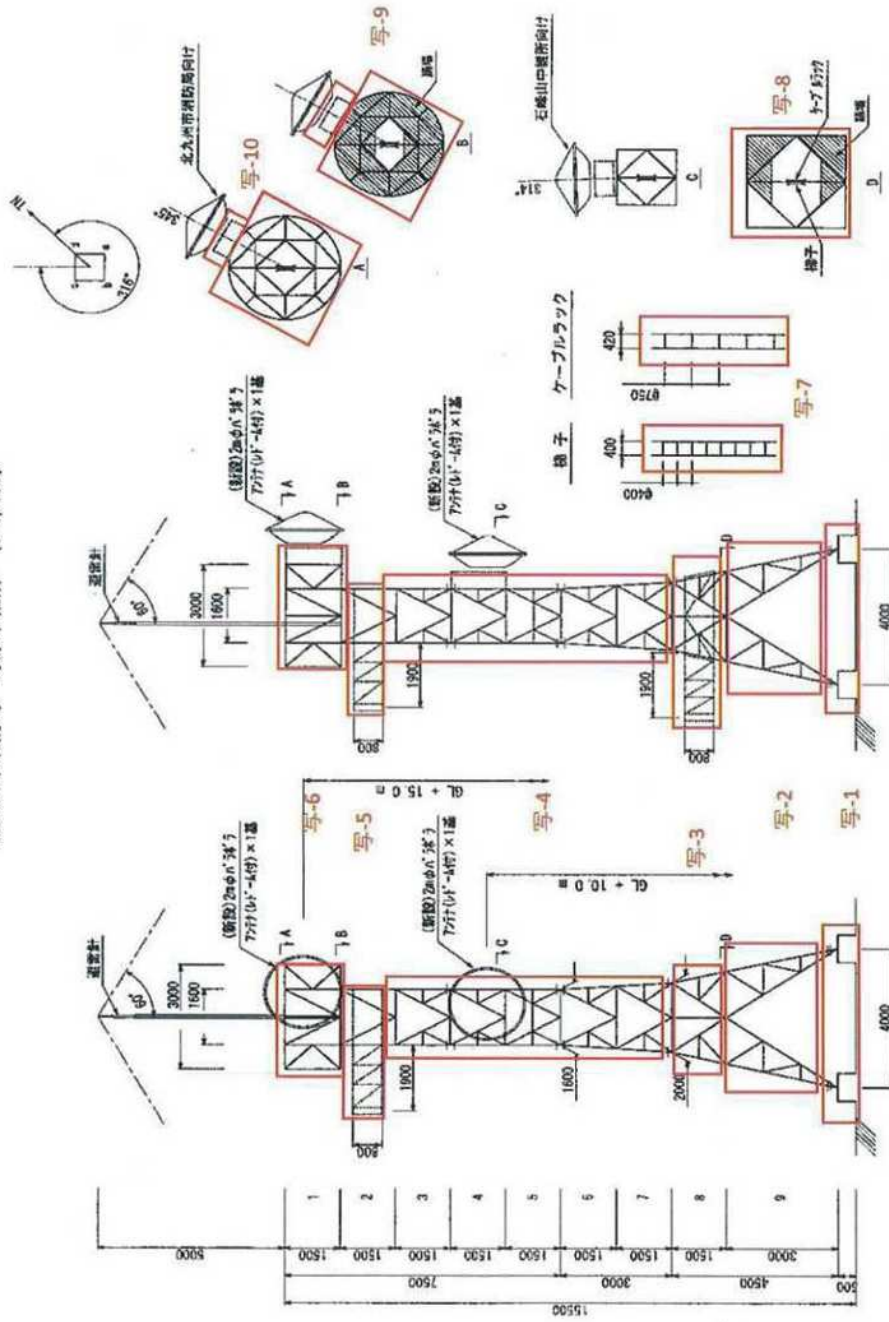
点検結果の所見 ボルトの状態は良好。ベースボルトの補修と溶融めっきが消耗しているため、防食塗装施工を提案します。 判定記号 A B C D

応急処置の有無 有 無 対策の内容: 合計 24 1 4 2

診断区分	診断の内容
A	健全
B	「主要部材がI かつ 非主要部材がI又はII」
C	「主要部材がI かつ 非主要部材がIII又は「主要部材がI」 かつ 非主要部材がI、II又はIII」
D	「主要部材がIII又は「主要部材がI又はII かつ 非主要部材がIV」
D	緊急処置要

図面-No.1

北九州市消防局 母原中継所 (S=1/150)



母原無線基地局外觀写真・説明



工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-1

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：基礎・柱脚部



・基礎コンクリートにひび割れ、剥落

・ベースコーキング材剥がれ

IV



・基礎コンクリートにひび割れ

・ベースコーキング材剥がれ

IV



・基礎コンクリートにひび割れ、剥落

・ベースコーキング材剥がれ

IV

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-1

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：ベースPL,アンカーボルト



・ベースPL・アンカーボルトに変形
錆は無いが亜鉛層の劣化が進み、
合金層が局部的に露出した状態。

・4脚共同じ状況です。

・ベースコーキング材剥がれ

II



・アンカーボルト等の脱落、
緩みは見られません。

・ベースコーキング材剥がれ

II



・アンカーボルト等の脱落、
緩みは見られません。

・ベースコーキング材剥がれ

II

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-2

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：本柱・腹材



・腹材PL、二次部材のボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・本柱のPL部ボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・腹材・二次部材のボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-2, 8

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：腹材・二次部材・踊場



・踊場、二次部材のボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・踊場、二次部材のボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・踊場、二次部材、グレーチング
のボルトの状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-3

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：本柱、腹材、二次部材、補助材PL



・二次部材、補助PLのボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・二次部材、補助PLのボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・本柱、腹材PLのボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-4

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：本柱、補助材PL



・二次部材、補助PLのボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・本柱、腹材PLのボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・本柱、腹材PLのボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-4

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：本柱・腹材、二次部材、補助材PL



・二次部材、補助PLのボルトの
状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出
した状態。 III



・本柱、腹材PLのボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・二次部材、補助PLのボルトの
状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出
した状態。 III

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-5

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：補助材、アーム材、パイラック



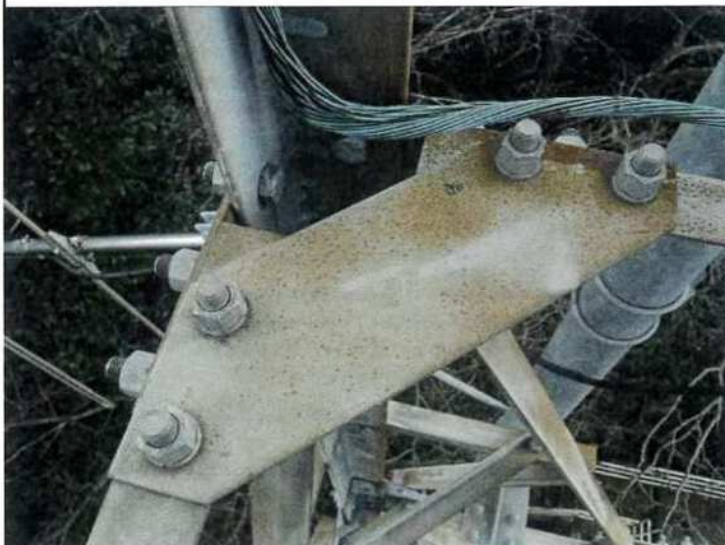
・アーム材のボルトの
状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・パイラックが錆ている。
要交換(SUS)製

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出
した状態。 III



・補助PLのボルトの
状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し
合金層が全面に露出
した状態。 III

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-6、9

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：リング、踊場、グレーチング、補助材



・リング、踊場、補助材のボルトの状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。 II



・二次部材、補助材、グレーチングのボルトの状態は良好。

・グレーチングに錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III



・グレーチングのボルトの状態は良好。

・グレーチングに錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-6、10

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：リング、帆塗材PL、二次部材



・リング、補助材のボルトの状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III



・リング、補助材のボルトの状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III



・リング、補助材のボルトの状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-7

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：梯子、ラック

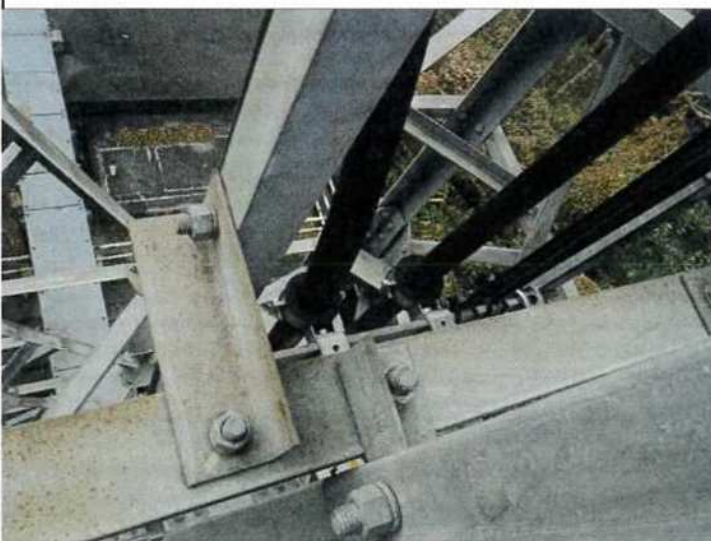


・錆は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。 II



・ラック、梯子継手のボルトの状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III



・ラック、梯子継手のボルトの状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-9、10

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：アンテナ架台



・アンテナ架台継手のボルトの状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III



・アンテナ架台継手のボルトの状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。 II



・アンテナ架台継手のボルトの状態は良好。

・錆が浮かび亜鉛層が消耗し合金層が全面に露出した状態。 III

備考：

工事件名；無線基地局点検業務

図-1・写-4

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：八木アンテナ、架台



・八木アンテナと周辺の立木
が接触している。



・八木アンテナ架台継手ボルト
の状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が
進み、合金層が局部的に露出
した状態。 II



・鬼より線切れかけている。

工事件名；無線基地局点検業務

その他

工事場所：北九州市小倉南区大字母原1608番地の92

基地局名：母原無線基地局

撮影箇所：水平ラダー



・錆は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。 II



・水平ラダー継手ボルトの状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。 II



・水平ラダー継手ボルトの状態は良好。

・錆は無いが亜鉛層の劣化が進み、合金層が局部的に露出した状態。 II